



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT"

# The service club of the YMCA THE Y'S MEN'S CLUB OF NISHINOMIYA



AFFILIATED WITH THE INTERNATIONAL ASSOCIATION OF Y'S MEN'S CLUB - CHARTERED MAY 17TH, 1948

### 主題 (2015-2016)

- 国際会長(IP) Mr. Wichian BOONMAPAJORN (Thailand)  
"Mission with Faith" 「信念あるミッション(使命・目的)」
- アジア会長(AP) Mr. Edward ONG (Singapore)  
"Through love Serve" 「愛を持って奉仕しよう」
- 西日本区理事(RD) 遠藤 通寛 (大阪泉北)  
「あなたならできる! きっとできる」 "You can do it! Yes, you can!"  
副題: -生きる しなやかに さわやかに- Live flexibly and refreshingly-
- 六甲部部長(DG) 進藤啓介(神戸クラブ)  
「『YMCAと共に』 「人を育て・地域に仕える」
- 西宮クラブ会長(CP) 浅野 純一  
「幸せな気持ちになれるクラブの活動」

- ★ 2016年1月 西日本区強調ポイント "IBC、DBC"  
「交流はワイズの醍醐味。クラブや部を超えた出会いを楽しみましょう」  
中井信一 国際・交流事業主任(奈良クラブ)

2016年1月第813号  
《69期7号》  
Since 5.17.1948

スポンサークラブ  
・大阪クラブ  
DBC 締結(2007)  
・近江八幡クラブ  
・広島クラブ

クラブ主役員  
会長 浅野 純一  
副会長 西山 茂夫  
直前会長 山口 吉郎  
書記 廣瀬 一雄  
書記 山口 吉郎  
会計 足立 康幸  
会計 岩田 健司  
監事 丸山 悦治  
担当主事 宗行 孝之介  
部Yサユース主査 山口吉郎

**我らのモットー:**強い義務感を持つと、義務はすべての権利に伴う  
To acknowledge the duty that accompanies every right !

### 今月の聖句

「愛する人たち、このことだけは忘れないでほしい。主のもとでは、一日は千年のようで、千年は一日のようです」 (ペテロ第二3章8節) 藤原百合子ワイズ選

### 2016年1月第一例会ご案内

日時 1月8日(金) 19時~21時  
会場:西宮YMCA保育園3階  
ドライバー:丸山ワイズ、馬場(貴)ワイズ

1. 開会点鐘 浅野会長
2. ワイズソング 一同
3. ゲスト・ビジター紹介 浅野会長
4. 聖句朗読・食前感謝
5. 会食
6. 入会式  
新入会員 河野彰氏
7. 卓話 「ソシオネクストご紹介」  
講師 馬場貴英ワイズ
8. お誕生日のお祝い
9. ワイズニュース 浅野会長
10. YMCAニュース 宗行主事
11. 閉会点鐘 浅野会長

2月はBF切手の送付月です。各位1月例会にて集めた切手を持参してください。

### 【12月例出席状況】

|                |               |
|----------------|---------------|
| 第1例会(12/12 土)  | 第2例会(12/26 土) |
| メン 20名(内 MU6名) | メン 11名        |
| メネット・コメント 9名   | メネット・コメント 0名  |
| ゲスト・ビジター 12名   | ゲスト・ビジター 0名   |
| 合計 35名         | 合計 11名        |
| 出席率 90.9%      |               |
| 在籍数 22名        | (累計出席率 93.9%) |

【お誕生日】 廣瀬一雄メン(1/1)、濱崎進一メン(1/1)、石井恭子メン(1/2)、三島知穂メネット(1/5)、濱美智子メネット(1/10)、山口政紀メン(1/20)

### 【ファンド・BF 累計】12月

ニコニコファンド ¥0 累計 ¥20000  
Brotherhood Fund (目標 345\$) ¥0 累計 ¥15300  
東日本大震災 Fund (目標 ¥27600) ¥0 累計 ¥10200  
BF使用済み切手 (前期 ㊦) 今期 ㊦

## 【会長メッセージ】

浅野会長

明けましておめでとうございます。皆様が今年一年、健やかに幸せに過ごされることを心よりお祈り致します。私が会長を引き受けて早くも半期が過ぎました。そして、後半に入ったわけですが、新しい年を迎えると共に新しいメンバーが加わります。数年ぶりの嬉しいできごとです。このことを好機として、より一層充実したクラブづくりの先頭に立って努力したい所存です。どうかよろしく願いいたします。

さて、私は、昨年12月初め、皇居の乾通りの通り抜けに、東京に住む娘夫婦と共に行き、紅葉を楽しみました。一昨年春の桜と秋の紅葉の季節に一般公開をしています。昨秋の列島は、10月の降水量が少ないことで葉の水分が少なく、また11月の気温が高かったために、色づく前はかなり枯れてしまっており、神戸の森林植物園や京都の平等院を訪れたのですが、例年の美しさを味わうことはできませんでした。そして、紅葉見物の最後に行ったのですが、紅葉を含めて、皇居の木々の美しさに大きな感銘を受けました。まさに、日本文化だと一人感激にふけりました。私が紅葉を鑑賞したのは開放2日目の日曜日でしたが、初日の土曜日には天皇・皇后両陛下が宮殿から通り抜けのにぎわいを見られて喜ばれていたと新聞で知りました。

私は天皇の存在について特に関心を持ってはいなかったのですが、日本史を担当するようになって、天皇の存在抜きには日本を語ることはできないと思うようになりました。世界史を見ると、王朝の交替はしばしばで、その際には多くの悲劇がありました。ところが、わが国には王朝の交替はありません。南北朝の混乱の時代(1336~92)はあったものの、よくぞ天皇を倒して新たな王朝を打ち立てようとする者が現れることなく、万世一系の皇統が続いたものだと思います(もっとも万世一系はフィクションと言う歴史家は多いのですが)。藤原(ふじわらの)鎌足(かまたり)、(614~669)、平清盛(1118~1181)、徳川家康(1542~1616)等(など)など、他国であるならば革命を起こして、新たな王朝を打ち立てるのではと思う人物は多くいます。では、なぜ革命は起こらなかったのか、私にはわかりません。日本史は5年間程度担当したのですが、日本のことを本当に知らなく、何か無性に勉強したくなりました。今、西洋史をまとめて、ワイズの方も含めて7~8人の方に読んでいただいているのですが、2~3月には終わる予定です。その後は4~5年間かけて日本史に挑戦したいと思っています。5年間は健康でありたく、自分にプレッシャーをかけて頑張ろうと思います。



皇居の乾通りにて

## 【ワイズニュース】

浅野会長

### 1 Y・Yフォーラム

2月6日(土) 13:00~17:00

『リブランディング 神戸YMCAの宝さがし』

栄光教会 その後懇親会

### 2 六甲部第2回評議会

3月5日(土) 場所・時間未定

### 3 チャリティ・ジャズ・ライブ

3月19日(土) 賀川記念館

## 【新入会員プロフィール】

(会員異動登録より抜粋)

氏名; 河野 彰(こおの あきら)さん

お誕生日; 1955年6月26日

ご住所; 宝塚市逆瀬台

職業; 自由業

勤務先; 「ブルー」

所属YMCA; 神戸(ウエルネスセンター維持会員)

スポンサー; 山口政紀ワイズ

その他;

三田YMCAにおいて奉仕活動をされています。

詳しくは、1月例会の入会式にてご紹介頂きます。

## 【第一例会報告】



ドライバー小野ワイズ、足立ワイズ

12月例会は毎年恒例のクリスマス祝会としてオーシャンビュー須磨において12月12日(土)午後17時より開催されました。晴れておれば、遠くは明石海峡から明石大橋を臨むまさにオーシャンビューのはずでしたが、生憎の曇天でそれは叶いませんでした。

今回は神戸ポートクラブの丹羽和子ワイズ(美賀多台教会牧師)にメッセージをいただきました。ビジターで神戸ポートクラブのメンバーでもある大野勉・智恵夫妻がサポートする「影絵によるイエス・キリスト降誕劇」を分かり易くご説明下さった。讚美歌は「きよこの夜」に始まり「もろびとこぞりて」で終了した。影絵は大変新鮮な素材でした。

会食に移り、しばし和やかなひと時でした。例年にならって食事の後には、バンドの演奏に合わせたカントリーダンスタイム。今回のバンドは西山メネットのご紹介による「SHAGGY筒見とフレンズ」ということで、今回のために急遽グループを結成していただいたもの。スパイシー・エンジェルズもいつもの制服ではなく私服(至福?)でしたが楽しいひと時でした。

合間の時間を利用して西宮クラブとしては初の試みで、持込み物で「チャリティーオークション」を行った。約13,000円ばかりの売上があり、クラブメネットを中心に計画が進められている、3月19日の東北支援チャリティーコンサートの支援金に寄贈した。寄贈下さった皆様、お買い上げ下さった皆様ありがとうございました。

最後は山本メネットがご用意下さったコメント達へのクリスマスプレゼントが贈呈された。お誕生日のお祝い、Y'Sニュース、YMCAニュースが浅野会長から報告されて終了となった。

出席者は浅野、足立、小野、阪根、長井、西山、濱、濱崎、廣瀬、丸山、万本、山口(政)、山口(吉)、山本各メン、西山、濱、廣瀬、山口(洋)、山口(まり子)、山本、長井各メネットとコメント、ビジターは神戸ポートクラブから大野ご夫妻、丹羽メン、芦屋クラブから篠坂、柏原、桑野各メン、畠中メネットとコメント、ゲストは演奏いただいたSHAGGY筒見&フレンズの皆様。計37名。(小野記)



丹羽牧師による影絵の降誕劇



カントリーバンド「SHAGGY筒見とフレンズ」



子どもたちへクリスマスプレゼント

## 【YMCA ニュース】

宗行 孝之介ワイズ

これをご覧になっておられる頃は新年でしょうか？

YMCAの2015年度も最終四半期に突入です。この年度は井上新体制にとっての初年度に当たります。改革、改善をすべきこと、また守り続けられないこと、この見極めをしっかりとなしつつ進んでゆかないとなりません。事業的にもまだまだ十分ではありません。人材育成も課題山積です。1990年代のバブルはYMCAにとってもバブルでありました。勘違いしていたこともたくさんあります。その中で最大の誤算は事業の収縮そのものもありますが、人材の流出です。よく「失われた10年」といわれますが90年代後半採用の人材はもうほとんど残っていないのが実情です。彼らが続けていてくれればほぼ管理職クラス、ここにぽっかりと空白が生じています。これは神戸YMCAのみならず全国のYMCAで同様の状況が生じています。1970年～80年初頭の自前会館建設ラッシュの結果現在の都市YMCAの会館が老朽化に悩まされていることはご



存知でしょうが、それ以上の課題が人材育成と、世代交代です。これは職員のみならずワイズメンズ、レイパーソン、ポリシーボランティア全てに関わる問題です。どうかお互いに知恵を出し合って、資源を分かち合って今後のYMCAをつくりたいものです。

その意味では12月にご協力いただいた「ブランディングアンケート」はみなさんの参画も頂いて漸く1万件を超えました。このあたりに我々の課題解決の糸口がありそうです。どうぞ2016年もよろしく願いたします。

## 【リーダー会便り】

3回生 宮脇 知紘リーダー

キッズは、六甲山YMCAで野外料理を行い「ホイル焼き」を作りました。子ども達が好きな材料を選択し、一人一人こだわりのあるホイル焼きを作ることが出来ました。また、グループ以外のお友達と関わることが出来るようキッズ全員で遊ぶ時間を設け、いつもと違う関わりが見られたように思いました。

ジュニアは六甲山YMCAへ行き、野外料理をしました。青空の下、自然に囲まれた環境で暖かいスープを作りました。子ども達はグループの仲間と手分けして食材を切ったり、薪で火を起こしたりしました。そして、グループオリジナルのスープを作り、いつもとは違った食の楽しみを感じることができたのではないかと思います。これからも自然の中でのびのびとできる活動にしていきます。

シニアは、新神戸駅から市ヶ原を経由して摩耶山頂まで行きました。設定されている2つのルートを、それぞれのグループがみんな話し合っ決めて、子供たちはお互い助け合いながら登山をしました。この活動を通して、仲間との協力・助け合いの大切さや目標に向かって努力することの重要性、登山の楽しさなどを感じることができたのではないかと思います。次回は、今回の子どもたちの姿を活かすことができるようプログラムを練っていきます。

また、地域クリスマス会が行われ、幼児から小学生の子どもたちが集まりました。歌やゲームをしたり、クリスマスがキリストへの感謝をする日であるため、ありがとうを伝えたい人へのカード作りをして楽しい時間を過ごしました。

## 【西日本区だよりー17】

EMC事業主任 小野 勲紘

びわこ部EMCシンポジウム



今期前半の最後は、びわこ部EMCシンポジウムで締めくくることになりました。坂井びわこ部部長と安澤びわこ部EMC事業主査が12月13日(日)彦根市福祉会館の会場を用意して下さいました。教会の礼拝終了後、新幹線で米原まで行き、戻った彦根駅前。15時前に安澤主査が玄関前で出迎えて下さいました。年末の多忙な時期であったのですが、びわこ部各クラブから19名のメンバーが集まって下さいました。資料は九州部で7月5日の評議会併設のシンポジウムで使用してから回数を重ねる度に充実してきました。

冒頭に、坂井部長から挨拶があり、私EMC事業主任から資料に従って現状の説明と問題点を挙げさせて下さいました。その中で現在の状況も併せて加えた。やはり前期末以来急激なドロップに対してどう対応していくかをまず課題として提起させて下さいました。前期のスタート時には1600名を維持していたが、前期末に79名(びわこ部 大津クラブ4名、中部名古屋プラザクラブ8名の解散を含む)ものドロップがあり、少しずつ入会に努力している上で大きな足かせになっている。そういった課題から皆様のご意見を伺うイントロとした。

その後、各クラブから現状と問題点を併せて一人ずつ丁寧に多くの問題点が出て来た。特に草津クラブ、滋賀蒲生野クラブでは大量のドロップが出ているので問題は深刻な様子。また全体的に高齢が目立つ点も課題である。

ドロップの動機を見つけ、防止策に工夫をしていくことは重要であるが、何故なのかと言えば特効薬がない。今後後半に入っていく上で「ドロップ阻止」と「若返り」は各部共通の課題である。

終りに当たって、西日本区8部(残りは京都部が2月6日)のシンポジウムを開催出来、真剣に検討出来たことを感謝して閉会となった。次期EMC事業主任の山藤ワイズ(京都グローバル)が熱心に西中国部のEMCシンポジウムから、阪和部、中部とご一緒出来たことは幸いでした。

